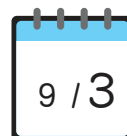


# まちの話題



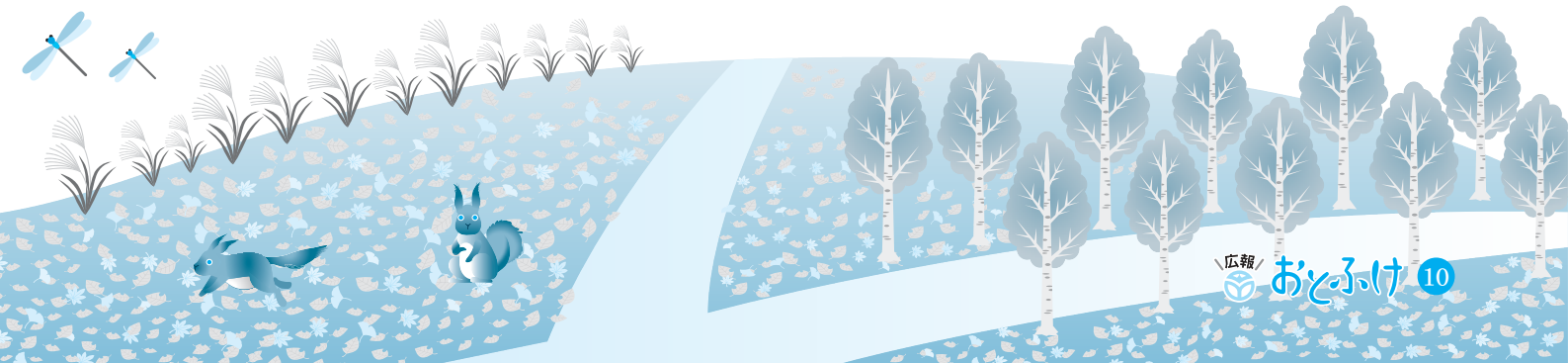
## 十勝管内初 学生消防団員誕生

大学生などの学生消防団員の加入促進を検討していた音更町消防団は、帯広大谷短期大学の学生2人に、十勝管内初となる学生消防団員の辞令交付を行いました。辞令を受けた嘉藤るみさん(右)と竹村菜々さん(ともに社会福祉科1年)は「ボランティアや地域貢献に関心があったため、話し合っただけで決めました。今後はしっかり勉強して、早く地域のために役立ちたい」と力を込めて話してくれました。



## 町内会の在り方について学ぶ

総合福祉センターで町内会(行政区)役員研修会が行われ、82人が参加しました。講師の杉岡直人さん(北星学園大学社会福祉学部教授)は「町内会活動は強制されるものではなく、自分たちで作り上げていくもの。そして、いろいろな関係者の話を聞いて、町づくりについて考えて欲しい」と話がありました。講演後は映像で紹介された2つの事例について、グループに分かれて感想や意見交換が行われました。





## 認知症の理解を深める



文化センターで認知症に関する講演会が開かれ、約350人が来場しました。講師の和田行男さん(株式会社大起エンゼルヘルプ取締役)は「認知症は、なりたいたってなった病ではない。自分の努力では治りません。日頃から人との関わりを持つなど生活に張り合いを入れてください」とアドバイスがありました。



## 一羽の折り鶴に平和への願いを込めて



町は、7月27日から8月20日まで「平和パネル展」の開催に合わせて、世界恒久平和実現への願いを込めた「折り鶴」の取り組みを行いました。町内の多くの皆さんに折っていただき、5159羽になりました。折り鶴は千羽鶴5束分にし、広島市へ送りました。皆さんご協力ありがとうございました。



## 不戦の誓い新たに



音更町忠魂碑参りが音更神社境内で行われ、戦没者遺族27人、来賓16人が参列しました。音更町遺族会の山田壽夫会長は「戦争のない平和な世の中を未来永劫に実現していくことが、私たちに課せられた責務である」と誓いの言葉を述べました。



## くせ字を直したい



基礎から学ぶ実用ペン字講座(全6回)が生涯学習センターで開かれました。第1回目この日は、ペンの持ち方や平仮名全般の基礎を学びました。参加した水崎理佳さんと娘の幸保さんは「この機会にくせ字を直したい。ペンの持ち方が参考になりました。全日程参加したい」と意欲的に話してくれました。